※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「最新　数学Ⅱ」　（数研出版）						
副教材等	書き込み式シリーズ【基本～標準】教科書傍用 パラレルノート 数学Ⅱ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用のノートやプリントで授業を進めます。
・様々な法則や公式の説明及びそれを使った問題の解き方を説明します。授業用のノートやプリントにしっかりとまとめ、理解してください。
・授業中に出題する問題を自分で解いていきましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方をきちんと書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・定期考査ごとに配布する対策プリントにしっかりと取り組みましょう。
・パラレルノート 数学Ⅱは定期考査ごとや単元の切れ目等に提出してもらいます。

2　学習の到達目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章 式と証明	第１節　式と計算 １　多項式の乗法と因数分解 ３　多項式の割り算 ４　分数式の乗法･除法 ５　分数式の加法･減法	a：３次式の乗法公式および因数分解の導き方や適用の仕方、整式の除法や分数式の四則計算を行うことができる。 b：整数の割り算と整式の除法との共通点に注目し、除法の原理について考察することができる。 c：式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組もうとする。	単元ﾃｽﾄ 定期考査	単元ﾃｽﾄ 定期考査 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ
	第2章 複素数と方程式	第１節　複素数と２次方程式の解 １　複素数 ２　2次方程式の解と判別式 ３　解と係数の関係	a：複素数の定義の理解と四則計算、２次方程式を解の公式を用いて複素数の範囲で解くことができる。 b：複素数が実数を拡張したものであることを理解する。 c：２次方程式が複素数の範囲で必ず解けることに関心を持ち、方程式の解について調べようとする。	単元ﾃｽﾄ 定期考査	単元ﾃｽﾄ 定期考査 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ
	第3章 図形と方程式	第１節　点と直線 １　直線上の点 ２　平面上の点 ３　直線の方程式 ４　２直線の平行と垂直	a：２点間の距離や内分・外分点の座標、三角形の重心与えられた条件から直線の方程式を求めることができる。 b：座標平面上の図形を、方程式を満たす点の集まりとみることができる。 c：具体的な問題解決の場面で、２点間の距離や内分･外分点の公式を積極的に利用しようとする。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ
	第5章 指数関数と対数関数	１　指数法則 ２　指数関数とそのグラフ ３　対数 ４　対数の性質 ５　対数関数とそのグラフ	a：指数法則および対数の定義について理解し、方程式や不等式を解いたりすることができる。 b：累乗根を踏まえ、指数を整数さらに有理数まで拡張する意義を考察することができる。 c：指数と対数の関係について関心を持ち、いろいろな対数の性質を調べてみようとする。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題

※令和４年度以降入学生用

後期	第6章 微分法と積分法	第1節 微分法 1 平均変化率と微分係数 2 導関数 3 いろいろな関数の微分 4 接線 5 関数の増減 6 関数の極大・極小 7 関数の最大・最小 8 方程式・不等式への応用	a: 微分係数の定義について理解し。公式を利用して導関数を求めることができ、それ利用して関数の増減を調べることによってグラフの概形を描くことができる。 b: 微分係数と導関数の関係について説明することができ、関数の増減について導関数を用いて説明することができる。 c: 極限の概念に関心をもちいろいろな関数の増減やグラフの形状について調べてみようとする。	単元ﾃｽﾄ 定期考査	単元ﾃｽﾄ 定期考査 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ
		第2節 積分法 9 不定積分 10 不定積分の計算 11 定積分 12 定積分の性質 13 面積	a: 不定積分、定積分を求めることができる。 b: 微分と積分の関係について理解し、不定積分や定積分の性質が成り立つ理由を説明することができる。 c: 定積分の性質に関心をもち、積極的に活用しようとする。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度